

【特徴】

腎臓・高血圧内科は当センターで平成20年4月より標榜された科であるが、開院時は総合診療科に属しながら、腎疾患の治療と血液浄化療法の管理も行ってきた。そのため、腎疾患を伴う幅広い疾患（全身性エリテマトーデス、血管炎などを含む）を診療することを目標としている。また、開院以来、IgA腎症、糖尿病性腎症、腎血管性高血圧、透析に関する40編に近い原著論文（Nephrol Dial Transplant. 2011;26:170-177、Hypertension. 2011;58:205-211など）も出しており、腎臓・高血圧・透析の専門医として世界に発信できる医師を育てることを目標としている。

【研修目標】

1. 一般目標

機会的蛋白尿・血尿、高血圧から末期腎不全、透析まで、腎生検や腎エコーなどによる検査、血液浄化療法を行って、幅広く診断と治療を行うことができる腎臓・高血圧・透析専門医を目指す。

2. 行動目標

(1) 腎疾患の診断と治療

- 1) 腎生検の適応を判断することができる。
- 2) 腎生検の合併症を理解し、適切に腎生検を行うことができる。
- 3) 腎生検組織を観察し、適切な診断と治療方針を決めることができる。
- 4) 治療（ステロイド、免疫抑制剤、降圧剤など）に伴う合併症を理解し、適切に腎疾患の治療を行うことができる。

(2) 高血圧・腎疾患を伴う膠原病の診断と治療

- 1) 本態性高血圧・二次性高血圧の適切な診断と治療方針を決めることができる。
- 2) 病態による適切な降圧剤その他の治療法を選択することができる。
- 3) 腎疾患を伴う膠原病について適切な診断を行うことができる。
- 4) 腎疾患を伴う膠原病の治療方針を決め、治療に伴う合併症を理解し、ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤、特殊血液浄化療法などの治療を選択することができる。

(3) 血液浄化療法の研修

- 1) 慢性腎不全の保存療法を理解し、行うことができる。
- 2) 急性腎不全の病態を理解し、適切な診断、治療を行うことができる。
- 3) 血液・腹膜透析の適応を理解し、導入の決定と維持透析の管理を行うことができる。
- 4) 特殊血液浄化療法（血漿交換、血液吸着など）の適応を理解し、患者の管理を行うことができる。
- 5) 腎移植の適応を理解し、泌尿器科と協力し、移植患者の管理を行うことができる。

(4) 専門医資格の取得

内科学会、腎臓学会、高血圧学会、透析学会の専門医を取得するための要件を満たす。

(5) 臨床研究と学位取得について

臨床研究は大阪市立大学産業医学教室、香川大学薬理学教室などと共同で行っており、学位論文の取得も可能である。

【方略】

- (1) 泌尿器科、腎移植・透析部、総合診療科、糖尿病内科、内分泌内科などと連携し、腎疾患、血液浄化療法、移植などの幅広い知識を深める。
- (2) その他の科と連携し、透析患者が他科での処置で入院した際の知識を深める。
- (3) 上級医とともに腎生検、腎生検組織診断（病理診断科とも連携）を行い、適切な診断と治療

を選択できる研修を積む。

- (4) 上級医とともに慢性腎不全の保存療法、血液・腹膜透析や特殊血液浄化療法の実施管理を行い、研修する。
- (5) 治療に関する計画、経過、評価などを、指導医に添削を受けながら診療録に記載する。
- (6) 学会発表や論文執筆を行い、疾患の理解や疾患発症や進展のメカニズム理解を深める。

【評価】

上記の行動目標について自己評価を行い、かつ指導者から評価を受ける。

【研修プログラム】

	レジデント (卒後 3-5 年目)	シニアレジデント (卒後 6 年目以降)
症例	腎炎、ネフローゼ、急性・慢性腎不全・糖尿病、高血圧性疾患、膠原病など他に内科認定医を取得するため、内科全般の症例も受け持つ	腎炎、ネフローゼ、急性・慢性腎不全、糖尿病、高血圧性疾患、膠原病、移植患者など
検査・診断	腎の血液生化学・尿検査 腎生検と組織診断 腎の画像・生理機能検査 腎血流ドプラ 二次性高血圧の検索法等	同左 腎生検標本の特殊免疫染色など新技術の取得と診断能力向上のため他施設への研修もあり
治療・手技	降圧薬・ステロイド・免疫抑制薬・生物学的製剤などの種類と使い方 腎生検の手技 血液浄化療法の適応判断と実施および管理	同左のブラッシュアップ (特に血液浄化療法、なかでも特殊血液浄化療法) ブラッドアクセスの手術や腹膜透析の手技
他科研修	1 年次 (卒後 3 年目) に内科系専門科ローテート	
臨床研究	正規医師の研究補助 症例報告・学会発表 (臨床研究センターの研究室・動物実験室を利用)	正規医師の指導のもと自分の研究テーマを持ち学会発表・論文作成 学位論文作成の臨床研究も視野に入れる
専門医資格	内科認定医 総合内科専門医 腎臓学会認定専門医 透析医学会認定専門医 高血圧学会認定専門医	内科認定医 総合内科専門医 腎臓学会認定専門医 透析医学会認定専門医 高血圧学会認定専門医

【見学等問い合わせ先】

腎臓・高血圧内科部長 小西 啓夫